

## 支部例会会長からのお礼のご挨拶

2020年5月23日、名古屋大学大学院医学系研究科との共催で、「第84回日本生化学会中部支部例会・シンポジウム」を開催致しました。当初は名古屋大学東山キャンパスでの開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルスの感染拡大、および緊急事態宣言の発令の状況から、集会形式をとりやめ、誌上開催という初の形式により開催いたしました。みなさまには大変ご迷惑と混乱を与えてしまいましたが、108名という例年以上の一般演題登録があり、多くの若手研究者の発表の機会を確保できたことは不幸中の幸いでした。今回のシンポジウムでは、「シンポジウムタイトル「シン・セイカガク～世界を変えろ！生化学～」をテーマに、廣瀬哲郎先生（北海道大学遺伝子病制御研究所/大阪大学大学院生命機能研究科）、吉田昭介先生（奈良先端科学技術大学院大学）、長谷耕二先生（慶應義塾大学大学院薬学研究科・教授）に抄録集にご寄稿いただき、ご自身の研究の紹介をしていただきました。

メール会議にて行われた中部支部総会におきましては、中部支部の令和2年度の活動報告、会計報告ならびに次期支部幹事選挙の開票結果が報告され、それぞれご承認頂きました。次に、次期支部例会会長候補として橋本博先生（静岡県立大学薬学部）を推薦し、ご承認頂きました。また橋本先生から来年度の例会・シンポジウムのご案内をいただきました。

大変難しい状況でしたが、中部支部幹事の皆様、ならびに例会事務局の皆様からの多大なご協力によって、本会を無事、終えることができました。この場をお借りして、改めて御礼申し上げます。

また、日本生化学会中部支部例会・シンポジウムにご参加いただきました多くの方々に感謝申し上げます。

皆様のご研究の益々のご発展をお祈りしまして、お礼のご挨拶とさせていただきます。

第84回日本生化学会中部支部例会会長  
名古屋大学大学院医学系研究科 門松健治